

令和6年度12月補正予算概要

今回の補正予算につきましては、人事異動に伴う人件費の調整のほか、前回補正以降に予算措置が必要となったものを計上しました。

まずは、子育て支援です。

令和7年4月から、「子ども家庭相談室」を機能強化し、妊産婦、こどもとその家庭への包括的な相談支援等を行う「こども家庭センター」を設置するため、必要となるシステムの改修を行います。

また、小中学校の不登校対策として校内にサポートルームを設け、児童生徒の支援を行っていますが、より落ち着いた学習及び生活空間づくりのための環境整備を行います。

次に、給食センター等の整備です。

咸新小学校跡地に整備予定の新学校給食センターについて、敷地の造成工事を実施します。

また、新学校給食センターと同じ敷地に整備を予定している文化財センターについて、実施設計等を行います。

次に、まちづくり施策です。

令和7年2月の港都つるが株式会社と一般社団法人敦賀観光協会の一体化に必要な経費を計上します。

その他に、主なものとして5つ紹介します。

1つ目に、ふるさと納税の今年度の寄附額を、昨年度とほぼ同額の80億円と想定し、不足する関係事業費を増額します。

2つ目に、北陸新幹線敦賀開業や敦賀港の整備を活かすべく、新産業団地の適地を選定する調査業務を行います。

3つ目に、敦賀港の利便性向上のため、福井県が鞠山南岸壁に新たに整備するガントリークレーンの費用の一部を負担します。

4つ目に、職員の死亡事案に関しまして、第三者調査委員会を設置

し、事実関係の確認及び再発防止を図ります。

5つ目に、公共事業の施工時期平準化のため道路維持修繕等の工事を前倒しで発注します。

これらの結果、一般会計の補正予算額は36億743万6千円、累計で455億8,563万9千円となり、補正後の予算額を前年同期と比較しますと、3.3%の減となったものです。

今回の補正予算の詳細は、お手元に配布いたしたとおりです。

以上が今回の補正予算の概要でございます。

なお、国の経済対策等に伴う補正予算については、国の動向を注視し、今後すみやかに対応してまいります。